

様式2 研修プログラム（研修カリキュラム及び研修教材等）概要

自治体名（教育委員会名）	愛知県名古屋市
--------------	---------

I 研修プログラム構成要素一覧

モジュール番号・記号	モジュール名	育成する能力	研修内容	所要時間	研修形式	使用研修教材名 (権利処理の有無)	備考
①	教育情報化概論	ICT授業設計力 校内マネジメント力 ICT活用力/授業力	・ 教育の情報化がめざすもの (3つの柱)	5分	一斉		
②	教育情報化トレンド	ICT授業設計力 校内マネジメント力	・ 最近のICTに関する国の事業の動き ・ 教員のICT活用指導力の推移	5分	一斉	◆【サンプル公開】: 教育情報化トレンド	
③	先進・優良事例紹介	ICT授業設計力 校内マネジメント力 ICT活用力/授業力	・ 事例を見る上でのポイント・事例	15分	一斉		
④	授業ICT活用ポイント	ICT授業設計力 校内マネジメント力 ICT活用力/授業力	・ 目的に応じた授業の中でのICTの活用 ・ 効果毎の実践例	15分	一斉		
⑤	スキルアップに向けた心構え	ICT授業設計力 校内マネジメント力 ICT活用力	・ 現状の確認 ・ スキルアップに向けた視点	15分	グループ		
⑥	ICT活用授業設計	ICT授業設計力 校内マネジメント力 ICT活用力/授業力	・ ICT活用授業設計に当たっての観点 ・ ICT活用授業設計に当たっての方法	15分	グループ		

⑦	授業設計 ワークショップ	I C T授業設計力 校内マネジメント力 I C T活用力	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの実施要項例 ワークシート例 	30分	グループ		
⑧	I C T活用デモ		<ul style="list-style-type: none"> I C Tを活用した授業の実例 	10分	一斉		

II 各研修等のプログラム

1	研修等の名称	きて・みて・さわってタブレット
---	--------	-----------------

- (1) 研修等の対象者 : 小・中・特別支援・高校の教員
(2) 研修プログラム活用 の場 : 研修センター等の機関研修
(3) 研修等の期間・時間 : 3時間
(4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
教育情報化概論	<ul style="list-style-type: none"> 教育の情報化がめざすもの(3つの柱) 	15分	①	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育の目標、教育の情報化が目指すもの(3つの柱)の概論を説明した。
I C T活用デモ	<ul style="list-style-type: none"> タブレットP C活用場面の紹介 	15分	⑧	<ul style="list-style-type: none"> タブレットP Cを活用した授業例を紹介した。その際、授業におけるそれぞれの場面(導入、展開、まとめ)で活用している様子を紹介した。
教育情報化トレンド	<ul style="list-style-type: none"> 最近のI C Tに関する国の事業の動き 	10分	②	<ul style="list-style-type: none"> 最近のI C Tに関する国の事業の動きを説明し、実際の本市におけるI C T活用指導力が全国平均と比べてどの位置に当たるのかを知らせた。
I C T機器活用体験	<ul style="list-style-type: none"> タブレットP Cの基本的な機能の紹介とその操作方法 	60分	⑤	<ul style="list-style-type: none"> タブレットP Cの各機能について実際に操作しながら理解してもらった。また、基本的な操作(電源を入れて立ち上げる、作業画面からホームに戻す等)方法を身に付け、実際に授業でよく使う方法について具体例を挙げた。

先進・優良事例紹介	・ タブレットPC導入試行校等での授業実践例の紹介	15分	③	・ 様々な授業で活用することができるイメージを持つことができるように、校種、教科、学習形態が偏らないように紹介した。
授業ICT活用ポイント	・ 既存のデジタル教材を効果的に活用する方法	40分	④	・ 誰が、どういう活用をする目的で、授業のどの場面で活用するのかを明確にすることが重要であることを伝えた。
ICT活用授業設計、意見交流	・ 2学期に行うタブレットPCを活用した授業を考える	25分	⑥	・ 実際に2学期から授業で活用することができるように、授業作りをした。その際、授業のどの場面でタブレットPCを活用するのかを明確にしながら授業作りに取り組んだ。

2	研修等の名称	ICTを使った授業を考えよう①
---	--------	-----------------

- (1) 研修等の対象者 : 実証校の教職員
- (2) 研修プログラム活用の場 : 実証校における校内研修
- (3) 研修等の期間・時間 : 1時間
- (4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
教育情報化概論	・ 情報教育の目標 ・ 教育の情報化がめざすもの(3つの柱)	10分	①	・ 情報教育の目標を説明した。 ・ 教育の情報化が目指すもの(3つの柱)の概論を説明した。
先進・優良事例紹介	・ 教科指導におけるICT活用	15分	③	・ 教科における活用事例の紹介をした。授業における様々な学習形態(一斉学習、個別学習、協働学習)で、ICTを活用しているところを重点的に紹介した。
授業ICT活用ポイント	・ 電子黒板機能付きタブレットPCを活用した「分かる」「できる」授業作り	15分	④	・ 実際の授業で、タブレットPCを使う場面や活用方法についてイメージをつかむためのポイントを説明した。
ICT活用授業設計	・ ICTを活用した授業を考えよう	20分	⑥	・ 各教科の担当に分かれて、今後の授業でタブレットPCを活用した授業を行うために、誰が、どの学習場面で、どのような活用の仕方をするのかをはっきりさせながら、授業設計をした。

3	研修等の名称	I C Tを使った授業を考えよう②
---	--------	-------------------

- (1) 研修等の対象者 : 実証校の教職員
 (2) 研修プログラム活用場 : 実証校における校内研修
 (3) 研修等の期間・時間 : 1時間
 (4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
教育情報化概論	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育 教育の情報化がめざすもの(3つの柱) 	5分	①	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育の目標を確認した。 教育の情報化が目指すもの(3つの柱)の概論を再度確認し、21世紀に求められる能力として、日本と米国のそれぞれの考えを紹介し、説明した。
先進・優良事例紹介	<ul style="list-style-type: none"> 教科指導におけるI C T活用 	15分	③	<ul style="list-style-type: none"> 教科における活用事例の紹介をした。前回紹介していなかった教科を中心に活用事例を紹介し、一斉学習、個別学習、協働学習におけるI C Tの活用例として、様々な学習活動の様子を説明した。
授業I C T活用ポイント	<ul style="list-style-type: none"> I C Tを活用した授業を考えよう 	20分	④	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が課題を解決するために調べ学習をする動機づけとなるポイントについて説明し、生徒が主体的に取り組むことができるような展開例を提示した。
I C T活用授業設計	<ul style="list-style-type: none"> I C Tを活用した授業を考えよう 	20分	⑥	<ul style="list-style-type: none"> 「教科のねらい」「生徒の実態」「教材研究・分析」に沿って、I C Tをどのような活用意図で、どの方法で使うかを考えた。 様々な教科担任で一つのグループを作り、中3社会科の単元の中で生徒に主体的な意見交流をさせるためのI C T活用方法を考えて、授業設計を行った。

4	研修等の名称	児童生徒がICTを使った授業を考えよう①
---	--------	----------------------

- (1) 研修等の対象者 : 実証校の教職員
 (2) 研修プログラム活用場所 : 実証校における校内研修
 (3) 研修等の期間・時間 : 1時間
 (4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
教育情報化概論	<ul style="list-style-type: none"> 教育の情報化がめざすもの(3つの柱) 	5分	①	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育の目標を説明した。 教育の情報化が目指すもの(3つの柱)の概論を説明し、21世紀に求められる能力として、日本と米国のそれぞれの考えを取り上げて、説明した。
先進・優良事例紹介	<ul style="list-style-type: none"> 教科指導におけるICTの活用 	10分	③	<ul style="list-style-type: none"> 様々なICTの活用事例の紹介をした。授業の学習形態(一斉学習、個別学習、協働学習)におけるICTの活用例として、様々な学習活動の様子を説明した。
授業ICT活用ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業を考えよう 	10分	④	<ul style="list-style-type: none"> 授業には、導入、展開、まとめといった授業場面があり、場面によってICTの活用方法が変わってくることを、事例を挙げながら説明した。
ICT活用授業設計、意見交流	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業を考えよう 	35分	⑥	<ul style="list-style-type: none"> 小4年算数科「平行と垂直」の単元を取り上げて、ICTを活用した授業をどのように構成するか、話し合った。 各学年でグループとなり、意見を出し合いながら授業設計をした。

5	研修等の名称	児童生徒がICTを使った授業を考えよう②
---	--------	----------------------

- (1) 研修等の対象者 : 実証校の教職員
 (2) 研修プログラム活用場 : 実証校における校内研修
 (3) 研修等の期間・時間 : 1時間
 (4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
教育情報化概論	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育の目標 教育の情報化がめざすもの(3つの柱) 	5分	①	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育の目標を確認した。 教育の情報化が目指すものの概論を説明し、21世紀に求められる能力として、日本と米国のそれぞれの考えを取り上げて、説明した。
ICT活用授業設計、意見交流	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業を考えよう 	25分	⑥	<ul style="list-style-type: none"> 各学年でグループを作り、実際にこれからの授業の中で、ICTを活用した授業を行う場合に、どんな授業の展開が効果的かを話し合った。
授業設計ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 考えたICT活用の授業を発表しよう 	30分	⑦	<ul style="list-style-type: none"> 実際に考えた授業の展開を、各グループで発表し合った。その際、ICTを活用する授業場面(導入、展開、まとめ)や、誰がどのように活用するのかといったことを明確にしながら発表した。

6	研修等の名称	大学における教員免許状更新講習
---	--------	-----------------

- (1) 研修等の対象者 : 教員
 (2) 研修プログラム活用場 : 大学における教員免許状更新講習
 (3) 研修等の期間・時間 : 6時間
 (4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
教育の情報化: 電子黒板とタブレットPCを活用した授業作り	講義・演習・ワークショップ	6時間	①④他	<ul style="list-style-type: none"> 単にモジュールを扱うだけではなく、受講生がこれらモジュールを実際に活用できることを目指した。左記※に挙げたモジュールについて講義する他、全てのモジュールを紹介した。さらに関連する研究成果等を用いてICT活用について整理した。また研修の受講者はこれらモジュールを用いて実際に研修計画を立案した。ワークショップ等、アクティブ・ラーニング型で行った。

7	研修等の名称	大学における講義・演習・公開講座
---	--------	------------------

- (1) 研修等の対象者 : 教員
 (2) 研修プログラム活用 の場 : 大学における講義・演習・公開講座
 (3) 研修等の期間・時間 : 63 時間
 (4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
情報教育入門	講義・演習・ワーク ショップ	30 時間	①②④他	・ 免許法上の科目「情報機器の操作」であり、全学必修である。教育の情報化への対応の強化を目指して、本事業の成果を一部に取り入れると共に、アクティブ・ラーニング型の授業を一部(約 200 名)で行った。評価の結果、従来の授業とほぼ同様の成果が得られることが確認され、平成 29 年度から全ての開講クラスでの実施を目指して準備中である。
初等情報研究	演習・ワークショップ	30 時間	①～⑧	・ 情報に強い教員の養成を目指した「初等情報教員養成課程」の必修授業である。ここで本事業の成果を大きく取り入れ、アクティブ・ラーニング型(反転型)の授業を全面的に取り入れて行った(約 10 名)。
タブレットPCを活用した授業作り	講義・演習・ワーク ショップ	3 時間	①②④他	・ 教員免許状更新講習「教育の情報化: 電子黒板とタブレットPCを活用した授業作り」は、免許更新時にしか受講できない。そのため、それ以外の教員の向上を目的として講習を行った。内容は免許更新講習を少し簡素化し平易にしたものである。モジュールや研修計画の策定は概ね同様の他、ワークショップ等、アクティブ・ラーニング型で行った。